

Fグループ

# ティータイム コンサート

## フィンランドの民族楽器“カンテレ”癒しの調べ

北欧のハープといわれているカンテレ  
森と湖の国フィンランドの音色は  
繊細で聴く人の心をひきつける癒しの音楽を奏でます

《出演》 桑島実穂

28回生

フェリス女学院大学音楽学部音楽科卒業後、  
フィンランドに留学。音楽療法士、カンテレ指導、  
カンテレ奏者として活躍。

《演奏曲目》

カレワラ(伝承曲)

オーロラの輝き(伝承曲)

私のカンテレ(フィンランド民謡)

フィンランディア(シベリウス) 他



フェリス女学院は2010年に  
創立140周年を迎えます

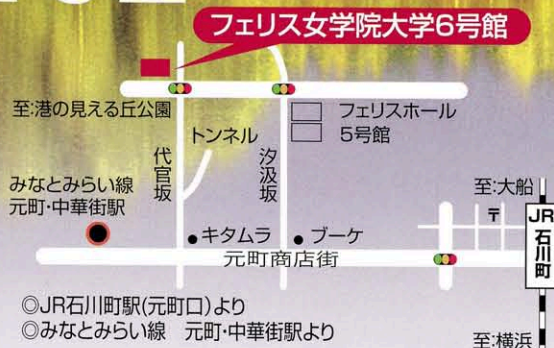
フェリスの丘で音楽と語らいの素敵な時間を楽しみませんか?  
皆様のおいでをお待ちしています!

# Tea Time CONCERT

2010年11月11日(木) 14:00~15:30  
フェリス女学院大学6号館

会費：1,000円(茶菓子付き)

定員：50名(申込先着順) 学外・卒業生以外も可



◆主催 フェリス女学院大学音楽学部同窓会 (Fグループ)

◆お問合せ/お申込み 8月20日より  
中川 佐和子

Fグループ事務局(木曜日10~17時) TEL&FAX:045-681-6740



Fグループ  
**Tea Time Concert**

～フィンランドの民族楽器“カンテレ”癒しの調べ～

お話と演奏 **桑島実穂** (28回)



2010年11月11日(木)14時  
フェリス女学院大学・山手キャンパス6号館 631 教室

\* \* \* \* PROGRAM \* \* \* \*

☆

☆

\*

☆

☆

♪ フィンランド民謡 より

☆ ☆

♪ ララバイ ☆ ☆ \*

\* ☆ ☆ \*

♪ 森への誘い \* ☆

☆

♪ 民族叙事詩『カレワラ』による変奏曲 ☆

\* ☆ \*

♪ 望郷のフィンランド

\*

☆

☆

☆

\*

\*

☆

\* \* \* \* \* \* \* \* \* \* \* \*

**桑島実穂** (くわじまみほ) ☆ カンテレ

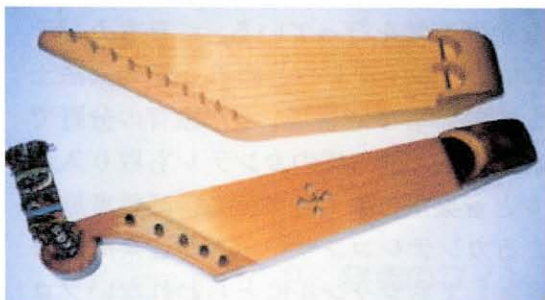
フェリス女学院大学声楽科卒業。フィンランドに留学。  
フィンランドの伝統民族楽器・カンテレ指導者として4か所で教室を展開、奏者としても活躍。特に小中型カンテレを得意とし、カンテレの起源である5弦、11弦、16弦、26弦演奏と普及に励む。ソロ活動のほか、カンテレユニット<プオルッカ>に参加。ハープ、チェロ、オルガン、声楽アンサンブル、ショートストーリー、朗読などのジョイントコンサート、また他分野とのコラボにも積極的に音楽イベントやヒーリングセッション、ボランティアコンサート(学校・施設・病院)など多数出演。また様々な企画運営を行っている。<日本カンテレ友の会>副理事長として日本側の責任者をつとめる。音楽療法士(日本音楽療法学会認定)として高齢者や障害者、学校教育の分野で実践と研究を行っており、音楽療法楽器としてのカンテレも取り入れる。毎年渡フィンし、カンテレと音楽療法の研修に励む。高齢者施設や学校、教会で<日本の曲によるカンテレコンサート>や音楽療法セッションも行っている。声楽家としてもジャンルにとらわれないソロやアンサンブル活動をしている。

\*\*☆☆\*☆☆\*\*

## カンテレとは

\*\*☆☆\*☆☆\*\*

カンテレ (KANTELE) は北欧フィンランドの民族楽器で、民族叙事詩<カレワラ>に起源を發する。大吟遊詩人ワイナモイネンの最初のカンテレは巨大な魚の顎骨で、2台目は白樺の木で作られた。人間はもとより鳥獣木石をはじめ、森羅万象を恍惚と酔わしめたと記されている。ツィター属に属する撥弦楽器の一種で、5弦から39弦まで、用途に応じ、異なる数の弦が張られた楽器を使い分ける。フィンランドでは音楽教育の導入や小学校の音楽の授業に使われている。16弦以上の大きいものは、木の板を組み合わせた箱に弦を張り、消音機能や半音操作ができるレバーを持ち、多様化した現代の音楽に合わせた変化を今も続けている楽器である。オルゴールのようなハープのような、繊細で深い音色や透き通る響きは、家庭や自然の中で歌やダンスの伴奏として、即興的な演奏に欠かせない楽器として親しまれてきた。フィンランドの歴史を語る楽器、またクラシックなどの独奏楽器としても愛されているカンテレは、森と湖の国・フィンランドを想いおこさせる音色で、聴く人の心を魅了する楽器である。



\*\*☆☆\*☆☆\*\*